



最上エコポリス通信

— mogami ecopolis tsushin —

令和元年7月号
山形県最上総合支庁



広がる可能性、広める魅力 全国山菜サミットin真室川

「山菜を活用した地域振興」をテーマに、『2019 全国山菜サミットin真室川』が、5月31日、6月1日の2日間に渡って真室川町中央公民館を主会場に盛大に行われました。

初日は、遠く福岡県など県内外から約600人が参加され、開会式では、新田隆治真室川町長の挨拶に続き、来賓の本郷浩二林野庁次長が祝辞を述べられ、吉村知事も祝辞を述べました。

基調講演では、テレビでも活躍しているフードコーディネーター木田マリ氏から、『無形文化遺産「和食」と家庭料理』と題し、和食の魅力などをお話いただきました。

また、山菜料理の試食では、山形フレンチ・シェ・ボンオーナーシェフの小松秀文氏による山ウドと山形牛の赤ワイン煮込みなどの創作料理3品、真室川町食生活改善推進協議会によるゼンマイ炒りなど7品の試食を行い、洋食への可能性を感じるとともに、伝統料理を堪能しました。参加者からは、「新しい調理法などを知り、山菜文化を伝えていかなければと改めて感じた」といった感想がありました。

パネルディスカッションでは、町内の山菜生産者や山菜採り名人に



加えて、料理家などが意見を交わしました。「天然物は収穫する人が高齢化し、販売先の確保まで手が回らない」「健康・美容効果が高いという特性を生かし、若い女性にPRしてはどうか」などの意見が出され、山菜をはじめとする最上地域の魅力を積極的に県内外にPRし、地域活性化につなげていく必要性等について話し合われました。

2日目は、のぞきわらび園でのワラビ採り体験ツアーや林業遺産見学ツアーが行われ、山菜の魅力をたっぷり発信できた2日間となりました。

【森林整備課 29-1347】



結婚を望む方に寄り添っていくために



5月29日、最上総合支庁において、最上地域全体で結婚を望む独身者を応援する体制づくりを進めていくため、最上地域結婚支援活動実践者意見交換会が開催されました。最上管内の市町村において、結婚支援員や仲人として結婚支援の活動を行っている方、市町村職員など約20名が出席し、各市町村の取組み状況、日ごとの活動で感じていることや悩みなどが話し合われました。

この意見交換会は、最上広域婚活実行委員会が主催するもので、今年度6回程度開催されます。今後は意見交換に加え、現代の結婚事情や結婚を望む人への寄り添い方など、活動に役立つ情報の提供を行っていく予定です。

県では、このような機会を通じて、最上広域婚活実行委員会と連携しながら、結婚を望む方の希望が叶うよう、地域で結婚支援活動を行う方々への支援に取り組んでまいります。

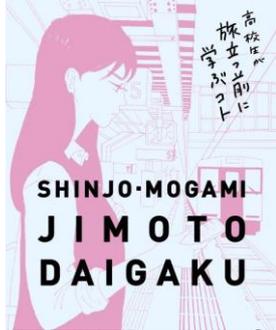


【子ども家庭支援課 29-1245】

地元のヒト・モノ・コトを学ぶ!



新庄・最上ジモト大学とは、若者の地元定着を推進するため、管内の高校生を対象に、地域の大人との対話を通し、最上地域の企業・産業や文化などの現状や課題を学ぶ講座です。3年目となるジモト大学は、講座数も内容も大幅にパワーアップします! 昨年は21の講座を用意し、高校生の参加者数は延べ418人が参加しました。新元号の令和元年度は昨年から11増えて、32の講座を開催します。



今年度の特徴として、民間団体による企画が増え、新庄信用金庫や東北芸術工科大学、NPO法人など、参加の輪が広がっています。今年から参加していただく新庄信用金庫の企画では、金山町で実施しているピーナッツの産地化事業について、資金調達から企画、商品化に至るまでのビジネスを学びます。その他にも「YouTuberの作り方」や「稼げる農業～Ohkura Style」など魅力的な講座をたくさん用意しています。

高校生は地域の大人との対話を重ねることで大きく成長します! たくさんの高校生の参加をお待ちしています!

[連携支援室 29-1238]

鮎釣りチャンピオンを目指そう!



7月27日(土)、鮎釣りのメッカである最上小国川において、高校生が鮎釣りを競う大会「第2回最上小国川鮎釣り甲子園大会」を舟形町の一の関大橋付近で開催します。友釣りという釣り方で釣った鮎の数を競うもので、上位入賞者には地元の特産の賞品が贈られます! また、参加者全員に参加賞と地元のおいしい味覚を振る舞います。ふるってご参加ください!



また、「未来に伝えたい、私たちの最上小国川」をテーマに「第4回最上小国川写真コンテスト」を開催しています。最上小国川の魅力(最上小国川の風景、体験や思い出など)を撮影した作品を募集しています。募集は11月30日(土)まで(当日消印有効)、入賞者には賞金の贈呈のほか、「最上小国川流域の特産物」のプレゼントもあります!

第2回最上小国川鮎釣り甲子園大会及び写真コンテストの詳細情報は、右のQRコードをご確認ください。

[連携支援室 29-1240]



鮎釣り
甲子園



写真
コンテスト

春の叙勲・褒章受章 おめでとうございます

<叙勲>

☆旭日単光章 栗田義夫さん

((有)クリタ園芸代表取締役)

最上地域の花の生産振興や農業法人の推進発展にご尽力されました。受章の報告に、最上総合支庁長を訪問されました。今後もよろしくお願いたします。



<褒章>

☆黄綬褒章 栗田和則さん(金山町)

地域の林業振興や林業士会など関係団体の活動にご尽力されました。今後もよろしくお願いたします。

[地域産業経済課 29-1307]

垣根を越えて「地域同期」の仲間づくり

シリーズ

若者定着・人材確保に向けた取組み

6月7日、ニューグランドホテルにおいて、新社会人のための「MOGAMIルーキーズカレッジ」を開校しました。昨年度に引き続き、地域の新社員が会社や業種の枠を超え同期のつながりを持ち、この地域で意欲高く働き続けてもらうことを目的として開催しているものです。

今回は、最上地域内の入社1~3年目の若手社員27名が参加し、先輩社会人をゲストに、仕事や上司との向き合い方などに関する本音トークを行うとともに、これまでの自分をふりかえりながら将来設計に活かすキャリアデザインのグループワークを実施しました。



最初は緊張した様子でしたが、研修が進むにつれ笑顔が見られ、グループワークなどを通して参加者どうしの交流も深まった様子でした。参加者からは、「たくさんの人と繋がることができ、とてもいい機会になった。」「とても勉強になり、いい研修だった。」といった感想が寄せられました。秋には第2回目を開催予定です!

[地域産業経済課 29-1309]

自分らしく輝くために一歩踏み出そう！

6月22日、Mogajo Cafe（モガジョカフェ）を開催しました。女性が自分らしく輝いて生きるために必要な経験値“ライフキャリア”アップを目指し、参加者が交流しながら学ぶ講座として、今年度、3回実施するものです。

第1回の今回は、「万場町の暮らし」を会場に、一般社団法人最上のくらし舎代表の吉野優美さんを講師として、「素敵なプランニング術を学ぼう！」のテーマで、11人が参加しました。

参加者からは、「企画を成功させるには想像することが大事ということがわかった」「新しいことを始めたいと思っているので刺激になった」などの感想があり、充実した時間になりました。第2回以降もご期待ください！



[子ども家庭支援課 29-1245]



ぼくのアンテナは最上の情報発信をしているんだよ☆皆にとどけ～！最上の魅力！

今年もおいしい雪若丸を

6月18日、山形おいしさ際立つ！米づくりプロジェクト最上地域本部（事務局：農業技術普及課）主催で「雪若丸」栽培現地研修会を開催しました。

「雪若丸」のおいしさを際立たせるには、今の時期に生育の状況をしっかり把握し、適切な対応を行うことが必要です。当日は、最上地域の「雪若丸」生産者と関係機関から約50名が参加し、新庄市泉田の圃場で生育の診断方法や今後の管理ポイントを研修しました。現在、全般に生育は良好ですが、昨年の水不足、大雨や日照不足のような、気象変動に負けない稲づくりについて、活発に意見交換しました。

県では、引き続き最上産「雪若丸」の品質・食味・収量向上を支援してまいります。



[農業技術普及課 29-1330]

色よし！最上産さくらんぼ



6月25日、ヤマザワ新店にて、最上産さくらんぼの品評会を開催しました。

最上地域のさくらんぼは、雪を掘って枝折れを防ぐ等、生産者の努力により、徐々に収穫量が増えてきています。7回目となる今年度は27点の「佐藤錦」が出品され、着色や粒の大きさも良好で、糖度も高く、品評会終了後の展示即売会ではすぐに完売となりました。

「最上さくらんぼブランド確立プロジェクト推進会議」は、品評会開催のほか、栽培技術の高位平準化、大玉果生産の推進などにより、品質で評価される産地を目指して活動してまいります。



1：最上管内の生産組織・関係機関で構成。さくらんぼ品評会を主催。

[農業技術普及課 29-1328]

「がんばれー！」工事現場を見学

6月26日、鮭川小学校4年生の児童24名が、鮭川村曲川地内で行われている居口橋の工事現場を見学しました。現場の担当者の説明を熱心に聞き入り、「鮭川村にはいくつ橋があるんですか？」という児童の質問に、担当者も思わず緘黙…。



児童たちは、現場撮影をしていたドローンにも興味津々。大きな橋桁を移動させる作業には「がんばれー！」と応援の声をあげていました。

[建設総務課 29-1391]

薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」！



6月20日早朝、新庄駅にて「ダメ。ゼッタイ。」最上地域駅前街頭キャンペーンを実施しました。当日は、最上地区保護司会、少年補導員連絡会、新庄最上薬剤師会の方々と行政機関担当者が、ティッシュやリーフレットを配布しながら通勤・通学者に対して薬物乱用防止を呼びかけました。多くの方に受け取っていただき、薬物乱用問題に対する認識を高めることができました。

6月20日から7月19日までは「ダメ。ゼッタイ。」普及運動期間となっており薬局等に募金箱が設置されます。

皆様も見かけましたらぜひご協力をお願いいたします！



[保健企画課 29-1257]



**令和元年度
第1回最上地域議員協議会**

最上地域の課題や施策展開等について、地元選出県議会議員を審議を行います。
傍聴を希望される場合は、当日会場でお申し込み下さい。
日時：7月25日(木)13:00～
会場：最上総合支庁講堂
[総務課 29-1211]

介護の仕事を学びませんか？

○施設見学 ～体験見学会 in みすぎ荘～
日時：7月6日(土) 9:00～12:00
場所：特別養護老人ホームみすぎ荘(金山町)
※新庄コアカレッジからバス移動します。
申込先：0233(29)2121(新庄コアカレッジ介護福祉科)

○もがみ介護フェア
日時：8月3日(土) 10:00～12:00
場所：新庄コアカレッジ(新庄市十日町6162-11)
内容：介護技術のデモンストレーション ほか
[地域保健福祉課 29-1276]



祭 一般の皆さんへ

新庄まつり体験募集

祭 最上郡内小学生の皆さんへ

○山車制作・曳き手・囃子体験のご案内
観光誘客を目的として、県外の方など広い世代に、より深い「新庄まつり」を楽しんでもらいたい、新庄まつりに実際参加し、より「ほんもの体験」をしてほしいという思いから企画しました。

日時：コース1《新庄まつりの概要と山車制作体験》7月27日(土)
コース2《山車制作体験と中帳場・交流体験》8月3日(土)
コース3《本まつり山車曳き手体験》8月25日(日)
コース4《山車展示見学と囃子体験》8月26日(月)
(1コースのみ参加も可能)

場所：新庄ふるさと歴史センター、万場町公民館、新庄駅(ゆめりあ)

料金：3,500円(コース1,2,4)
6,500円(コース3) [観光振興室 29-1312]

○山車曳き手募集のご案内
小学生の減少に伴い、新庄まつりで山車を曳いて歩く、曳き手が減っています。8月25日の本まつりでの曳き手を募集しています。詳細は、下記担当まで、ご連絡ください。

日時：8月25日(日)
午前7時頃から午後6時頃
内容：法被・昼食は若連で準備します。
集合場所等は、申し込み後、担当からお知らせします。

参加費：無料
[連携支援室 29-1236]



タクシーで巡るよくばり美食旅

瀬見温泉・肘折温泉と新庄駅間を、タクシードライバーの案内のもと、最上地域の“美食”を楽しみつつ、最上川舟下りなどを巡るツアーを開始します。

日時：6月22日(土)
～予定人数90名に達した時点で終了

料金：舟下り・昼食込で1人7,000円
(肘折温泉発は8,000円)

予約・お問合せ：(株)新庄タクシー
☎22-3955 [観光振興室 29-1311]



夏の省エネ「川柳・標語」「ポスター」の巡回展について

エネルギー消費が増大する夏期における省エネの取組みを促進するため、平成30年度の省エネ「川柳・標語」「ポスター」コンテストの優秀作品を展示します。

日時：7月8日(月)～19日(金)
場所：最上総合支庁 1階ロビー
[環境課 29-1285]

夏場の食中毒にご注意を！！
夏は、細菌性食中毒の発生が増加する季節です。次の3つのポイントに注意し、予防しましょう。

- ◇(細菌を)つけない
 - ★食品や手、調理器具はこまめに洗いましょう。特に生野菜は流水で十分に！
 - ★台所は常に清潔にするよう心がけましょう。
- ◇(細菌を)増やさない
 - ★調理した食品は早く食べましょう(2時間以内)。
 - ★冷蔵庫・冷凍庫は詰めすぎず、7割程度に。
- ◇(細菌を)やっつける
 - ★加熱する食品は中心まで十分熱を通しましょう。

手洗い、洗浄、消毒、温度管理、十分な加熱を心がけましょう！
[保健企画課 生活衛生室 29-1260]

発行日：令和元年7月1日
発行元：山形県最上総合支庁総務企画部総務課
総合案内窓口
電話：0233-29-1360 FAX：0233-23-2605

ほくのアンテナは何のためについてると思う？答えはエコポリス通信の中！探してみてね～！